

水戸芸術館
ART TOWER MITO

水戸芸術館現代美術センター 高校生ウィーク 2018

展覧会 + カフェ

3.11[sun] - 4.8[sun]

高校生
無料!

人とアートに出会う4週間

高校生ウィークは高校生と同年代の方に、
現代美術に親しんでいただくための展覧会無料招待期間です。
期間中はギャラリー入場者がどなたでも利用できるカフェを開設し、
さまざまなプログラムを行います。



EXHIBITION

高校生ウィーク期間中、高校生は無料で何度でも現代美術ギャラリーの展覧会をご覧ください。

鑑賞できる展覧会

ハロー・ワールド ポスト・ヒューマン時代に向けて

本展は、高度に発達した情報社会と人間の関係を考えるグループ展です。インターネットや人工知能などの新しいテクノロジーの変革は、希望に満ちた新しい時代のドアとして期待される一方、さまざまな問題や混乱が危惧されています。技術革新がもたらす時代の光と影について、参加するアーティストたちはどんな反応をしているのでしょうか。本展ではこれまで日本の現代美術の中で紹介される機会の少なかった国内外のアーティストによる、映像や写真、インスタレーションなど多彩な作品を展示します。

【見どころ】

- 情報社会を紐解くアーティストたちの競演
- ロボットや映像、写真など多様なメディアの作品群
- 情報社会の怖さを捉えるアートの力
- 国際舞台で活躍するアーティストたち

【参加作家】

デヴィッド・ブランディ、サイモン・デニー、セシル・B・エヴァンス、レイチェル・マククリーン、エキソニモ（赤岩やえ・千房けん輔）、小林健太、ヒト・シュタイエル、谷口暁彦

招待対象 | 高校生または15歳～18歳の方

招待期間 | 3月11日[日]ー4月8日[日]

入場方法 | 年齢または学籍がわかる身分証明書を水戸芸術館エントランスホールチケットカウンターにご提示ください。

【展覧会情報】

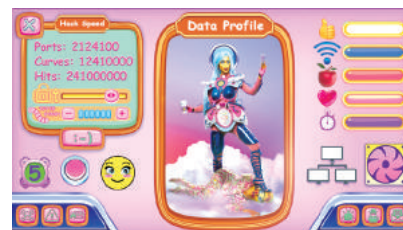
会期 | 2月10日[土]ー5月6日[日]

時間 | 9:30ー18:00 (入場は17:30まで)

会場 | 水戸芸術館現代美術ギャラリー

休館日 | 月曜日、5月1日[火] ※4月30日[月・祝] 開館

入場料 | 一般 800円、団体 (20名以上) 600円 中学生以下、65歳以上、障害者手帳をお持ちの方と付き添いの方1名は無料



1



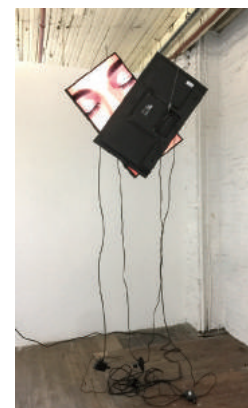
2



3



4



5



6



7



8

1 レイチェル・マククリーン
《大切なのは中身》2016
Commissioned by HOME, University of Salford Art Collection, Tate, Zabudowicz Collection, Frieze Film and Channel

2 セシル・B・エヴァンス 《溢れだした》2016
Courtesy of the artist and Emanuel Layr Galerie, Vienna

3 ヒト・シュタイエル
《他人から身を隠す方法：ひどく説教じみた.MOV ファイル》2013
Courtesy of the artist and Andrew Kreps Gallery, New York

4 谷口暁彦 《208.81.193.21》(「address(アドレス)」より) 2010ー

5 エキソニモ
《キス、または二台のモニタ》2017

6 小林健太
《ピンク＆ブルー、#ブルー#シャープネス》2016
Courtesy of the artist and G/P Gallery

7 デヴィッド・ブランディ
《チュートリアル：滅亡に関するビデオの作り方》2014
Courtesy of Seventeen Gallery, London

8 サイモン・デニー
《ブロックチェーンの未来予測/フェア用ブースと特別郵便切手：イーサリアム (リンダ・カンチェウとの共作)》2016
展示風景：第9回ベルリン・ビエンナーレ、ドイツ、2016
撮影：Hans-Georg Gaul
Commissioned and coproduced by Berlin Biennale for Contemporary Art / Courtesy of the artist and Galerie Buchholz Cologne / Berlin / New York (参考図版)